

公園の風景

= 耳を澄ませば =

ヨシ原の枯れ色やその静けさから、冬の到来を感じるようになりました。一面のヨシ原から聞こえてくるのは“チューン”“チー”というオオジュリンやツリスガラの声。それ以外にもよ〜く耳を澄ませば“パキパキ”“パリン”という音も。鳥たちがヨシの茎の皮をはがして中にあるビワコカタカイガラモドキやガの幼虫を食べているのです。ヨシ原はねぐらでもあり、食堂でもある小鳥たちの隠れ家です。隠れ家なのでその姿を見ることが難しいのですが、時々飛び上がっては又入るところや、ヨシの上の方に止まっているところに出会えることもあるので、音をたよりに探してみてください。



ヨシに止まるオオジュリン

= 入園者のカウント =

駐車場から園内への入口に最近見慣れぬ鉄製門扉が設置されている。これは公園に入園される人数をカウントするための試験的な試み。門扉には「入園者の人数を数えていますので一人ずつ一列で入ってください。（出るときも同じです）」の注意書きが添えられている。門扉の両端にセンサーがあり、人が通ったらその回数をカウントするという。公園開園当初、ビジターに申し出ないと中央園路の散策が出来なかった園 10 周年を記念して平成 23 年から中央園路の一般踏み切り、現在は開園時間内なら誰でも自由に園内散しめる。そのため来園者の人数の把握が難しく、とり入・退園者の動向を知るための門扉設置となった。

この門扉、自然観察公園の雰囲気と溶け込めるか…ちょっと気に掛かる存在ではある。



ターセが、開開放に策が楽あえず